

校 園 長 室 か ら



学校教育目標

共に学び共に伸びる子ども

- ・いのちを大切にできる子ども
- ・だれとでも仲良く協力し合う子ども
- ・意欲をもち学習する子ども
- ・ねばり強くはたらく子ども

令和 8 年 9 月 10 日 第 117 号

雨

雨天が続きうんざりする日々。日本も雨季と乾季に分かれたのかと錯覚しそうです。雨量も今まで以上で、各地で被害続出。雨具もあまり役に立たないような。昨日の警報には驚きました。午前 8 時 40 分すぎの発令。保護者の方々には大変ご心配とご苦勞をおかけしました。

警報が出たものの小雨。ところが午後 2 時ごろからは、雷雨に風雨。家の雨戸が締まっているか心配になったり。当然雨音も激しくなって、雨水が運動場を満たしていました。

雨傘もこれでは使えません。雨脚は分厚くなる雨雲とともに激しくなってきました。豪雨と言うのでしょうか。梅雨の時でもこんな降り方のなかったように思います。

その降雨も午後 4 時ごろにはおさまリ、大雨警報も解除。体育館が避難場所になっていましたが、それもようやく閉鎖。

時雨ぐらいが続くのであれば喜雨、恵雨とも慈雨とも呼べるのですが、長雨に弾雨ときては、どこかに強烈な雨男雨女がいるのではと、キョロキョロしてしまいます。その秋雨を眺めながら、吉行淳之介の小説「驟雨」でも読もうかと本棚を探しますが、飾り物の雨蛙が気になってやめてしまいました。一雨ごとに秋が深まってやがて氷雨になるのでしょうか、冷雨は勘弁してほしいと思います。

授業を計画していた先生にとっては、涙雨だったかも知れません。

帰り道、霧雨になった空を見つめて、大変な一日を振り返ったのです。

もう雨乞は必要ないですが、こんな雨虎はいりません。せめて俄雨程度にしてほしいものです。